

# 鹿児島空港将来ビジョン骨子案における委員意見の位置付け

参考資料

## 第4章 施策展開の方向性

項目	委員意見の位置付け
<b>(1) 訪日外国人観光客等の需要獲得に向けた戦略の推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦略的なエアポートセールスの展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内他空港と比較して利用者の少ない国際線を伸ばす方向で検討すべき。</li> <li>・LCCのみならず、FSCの発着回数も増やし、富裕層の誘客を図るべき。</li> <li>・今後の経済成長が見込まれるアジアをターゲットに、本土最南端という地理的優位性を活かしながら路線誘致に取り組むべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離島航空路線の充実と離島観光の振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄を多数訪れている外国人観光客を鹿児島へと誘致する流れを強化する観点から、沖縄との間の路線拡充を図るべき。</li> <li>・国内線乗継ぎの利便性向上などを重視すべき。</li> <li>・国際線の拡充と合わせて、離島便を充実させ、インバウンド観光客を離島へ運ぶ仕組みを考えるべき。</li> <li>・離島のハブ空港でもあるため、訪日外国人をターゲットとして、離島観光の魅力を強化し、離島便で儲ける仕組みを考えるべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域観光の促進による空港利用者の獲得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港の魅力向上だけでは不十分で、ディステーションとしての鹿児島の魅力向上が不可欠。</li> <li>・インバウンド観光客が多数利用する福岡空港との連携を強化するため、二次交通のあり方を検討すべき。</li> <li>・二次交通等含め空港全体の魅力強化を考えるべき。</li> </ul>
<b>(2) 新たな航空需要に対応した運用改善や施設整備</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LCC/リージョナルジェット/ビジネスジェット向けの受入体制整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCC, 特に国際線LCCが空港利用者増加において重要なポイント。</li> <li>・小型機用のボーディングブリッジの設置を検討すべき。</li> <li>・プライベートジェット対応を充実させる必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐機スポット及びPBB等の運用改善及び整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(一部再掲)国際線を伸ばす方向で検討すべき。</li> <li>・(一部再掲)LCCのみならず、FSCの発着回数も増やすべき。</li> <li>・(一部再掲)アジアをターゲットに、本土最南端という地理的優位性を活かしながら路線誘致に取り組むべき。</li> <li>・(再掲)国内線乗継ぎの利便性向上などを重視すべき。</li> <li>・(一部再掲)国際線の拡充と合わせて、離島便を充実させるべき</li> </ul>

項目	委員意見の位置付け
(3) 鹿児島空港の魅力を増す機能の強化・充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の利便性向上に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人の誘客強化のため、国際線ターミナルビルの新設を検討すべき。</li> <li>・国内線と国際線の一体化や接続性改善を検討すべき。</li> <li>・国際線ターミナルビルの売り場面積の拡充や、全体の充実強化を図るべき。</li> <li>・(再掲)国内線乗継ぎの利便性向上などを重視すべき。</li> <li>・高齢者が利用しやすい空港のあり方を検討すべき。</li> <li>・駐車場の混雑緩和(立体駐車場化)を検討すべき。</li> <li>・ターミナルビルの運営時間延長を検討すべき。</li> <li>・ターミナルビルだけでなく、駐車場等を含めて、全体として効率的な旅客動線を検討すべき。</li> <li>・混雑しない旅客動線を検討すべき。</li> <li>・ソフト／ハードともに行列等のストレスを軽減する観点から、広いスペースを確保すべき。</li> <li>・(再掲)二次交通等含め空港全体の魅力強化を考えるべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航空会社の効率的運用に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保安検査場の増設を検討すべき。</li> <li>・手荷物預けの円滑化を検討すべき。</li> <li>・滞留時間の短縮を図るべき。</li> <li>・財源問題を含め、理想論ばかりでなく実現可能性の視点からも、空港のあり方を検討すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港間競争のための差別化に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(一部再掲)富裕層の誘客を図るべき。</li> <li>・利用者の購買意欲を高める店舗づくりを図るべき。</li> <li>・乗り継ぎ時間の過ごし方や観光客等へのPRのため、温泉施設を整備すべき。</li> <li>・「空の玄関口」として、インパクトのある特産品等のPR・販売機能を検討すべき。</li> <li>・国際線の売店・免税店の拡充を図るとともに、特産品の販売を強化すべき。</li> </ul>
(4) 地域における多面的な「拠点性」向上	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航空会社の拠点空港機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用時間の延長などを重視すべき。</li> <li>・国内地域航空における中心的役割を担うことが見込まれるJACの役割を記載すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸出入・物流機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空貨物によって、鹿児島県産品を海外や首都圏への輸送するため、基幹線や国際線の機材大型化に向けた取組を推進すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対応機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震対策だけでなく、火山対策も視野に入れ、他国にも存在しない先進性をもった空港を目指すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域の拠点性」に対する県民の理解促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港の発展が地域の発展に繋がる方向性で検討してほしい。</li> </ul>